

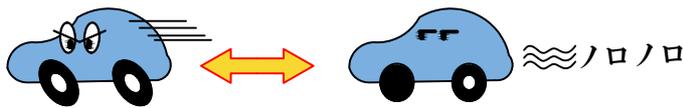
# とっぎよだい 特許第6590741号 新型ハイブリッド式浚渫船 しきしゅんせつせん



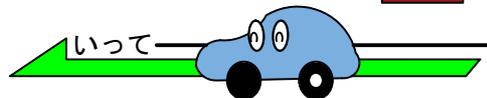
とっぎよちやうげんぶん 特許庁 原文へ

びゅーん

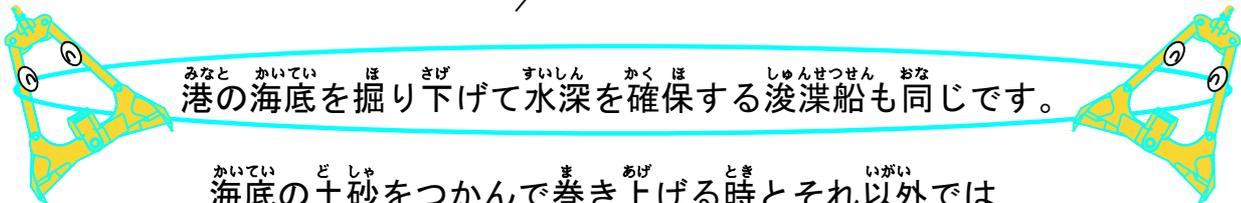
せいしきめいしやう しゅんせつき およ 正式名称: 浚渫機及びこれを用いた浚渫方法



クルマは加速・減速を繰り返すと燃費が悪くなります。それは加速するとき燃費を多く消費するからです。

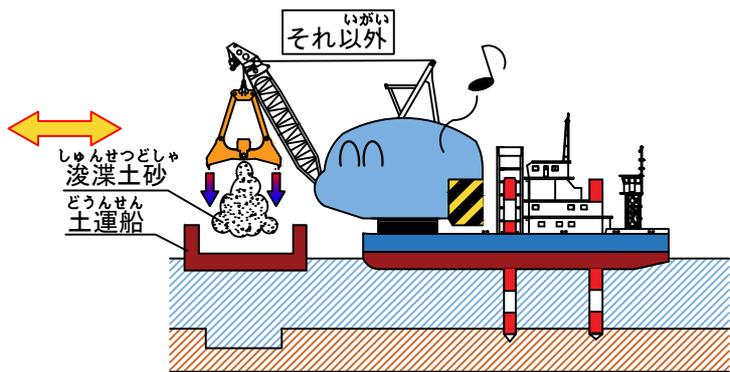
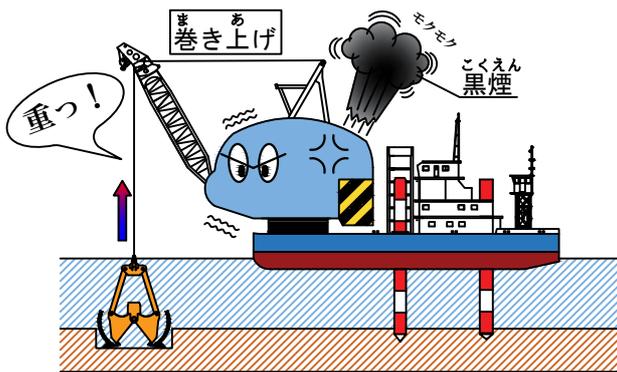


速度を一定に保つと燃費が良くなります。また経済速度(80km/h程度)で走るとさらに燃費が良くなります。

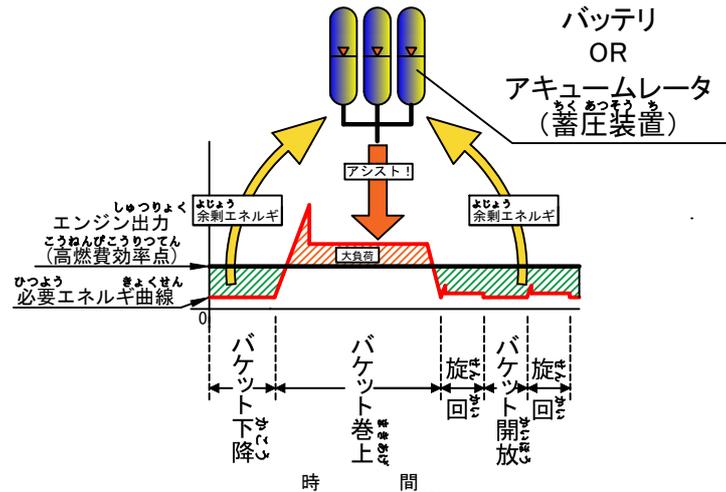
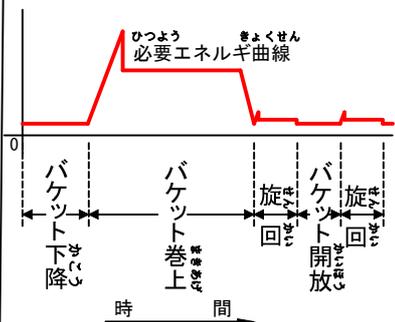


みなと かいてい ほ ぎげ すいしん かく ほ しゅんせつせん おな 港の海底を掘り下げて水深を確保する浚渫船も同じです。

かいてい どしや ま あげ と き いがい 海底の土砂をつかんで巻き上げる時とそれ以外ではエンジンにかかる負荷が大きく違い、急激に負荷がかかると排ガスに黒煙が出てしまいます。



ふか その負荷をグラフにするとこんな感じです。



エンジンを効率の良い出力域で一定出力で運転し、負荷の少ない時の余剰エネルギーを油圧としてアキュムレータと呼ばれる蓄圧装置に貯蔵。それを使って負荷の大きなバケット巻き上げをアシスト。エンジンへの負荷を一定にすることで黒煙の発生を抑えると同時に低燃費を実現する環境にやさしい技術です。

